

国内百貨店事業 売上

店名	前年比	4月-2月累計
伊勢丹新宿本店 店頭	96.2%	101.4%
三越日本橋本店 店頭	103.3%	98.8%
三越銀座店	98.0%	104.0%
伊勢丹立川店	100.9%	101.1%
伊勢丹浦和店	100.4%	100.1%
伊勢丹相模原店	95.9%	96.4%
伊勢丹府中店	96.2%	93.6%

会社名	前年比	4月-2月累計
札幌丸井三越	99.8%	99.6%
函館丸井今井	108.6%	95.3%
仙台三越	102.4%	97.9%
新潟三越伊勢丹	102.2%	99.2%
静岡伊勢丹	101.3%	96.1%
名古屋三越	98.6%	102.1%
広島三越	96.5%	94.2%
高松三越	97.5%	98.8%
松山三越	98.3%	96.0%
岩田屋三越	98.7%	99.3%

三越伊勢丹 計	94.1%	97.8%
既存店 計 ※1	98.4%	100.9%

※1 首都圏三越伊勢丹 既存店計(伊勢丹松戸店除く)

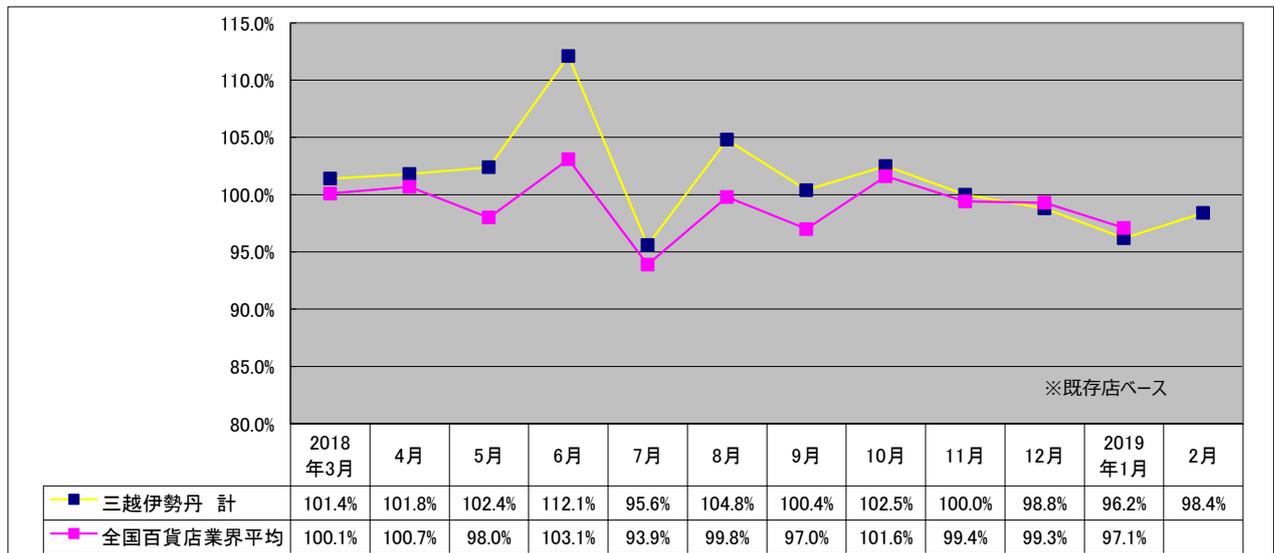
国内グループ百貨店 計	99.7%	99.1%
-------------	-------	-------

国内百貨店 計	96.3%	98.3%
既存店 計 ※2	98.9%	100.2%

※2 国内百貨店 既存店計(伊勢丹松戸店除く)

過去1年間の月別売上高(前年比)推移 [三越伊勢丹・全国百貨店業界平均]

数字は速報値です。



概況

- ラグジュアリーブランドをはじめとする高額品は堅調に推移したが、3月のオープンに向け大規模モデルを実施している伊勢丹新宿本店メンズ館の改装工事や大型催事の後ろ倒し、気温の変動が激しかったためボリュームゾーンの春物アイテムが伸び悩んだことなどが影響し首都圏の三越伊勢丹、国内百貨店の既存店共に前年実績を下回る。
- 基幹店ではデザイナーズブランドでジャケット、ブラウス、セーターなどの春物衣料やハンドバッグ、スニーカーなどの気温に左右されない通年使用可能な雑貨が好調に推移した。
- 免税売上は、店舗によってバラつきはあるが地域店が伸ばしたことや首都圏既存店で春節実績が堅調だったこと、前月に伸び悩んだ化粧品やラグジュアリーブランドが復調傾向にあるなど基調は悪くないものの、大口購入が減少するなど中国の電子商務法の影響が一部で見られた。